

## 第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

音更町では高齢者人口の増加が今後も進むことが見込まれ、地域社会における高齢者の役割はますます大きくなっていくものと思われます。また、認知症高齢者の増加も見込まれ、支援策の充実が求められています。さらに、少子高齢化が進み、町の財政状況の悪化などの厳しい社会経済環境の中で、多様なニーズに対応した施策を展開する必要があります。

各施策を展開するにあたっては、高齢者の知識・経験・活力などを活用した地域福祉を引き続き進めるとともに、高齢者団体などの活性化と効率的な運営の検討を進め、負担の公平性と持続的かつ安定的な福祉サービス提供の確保に努めます。また、第8期計画では団塊の世代などの新たな高齢者のニーズに対応した施策を検討します。

さらに、重点施策として、介護予防・生活支援サービスの推進、認知症の人とその家族への支援及び在宅医療・介護連携を進めます。

本計画で展開する各施策は次のとおりです。

### 施策の体系

課 題	基本方針	施策の方向	具体的な施策
【課題1】 健康で生き がいのある 生活への支 援	【方針1】 生きがい・健康づくり と介護予防事業の展開  ～いつまでも健康でい られるように～	(1) 敬老事業の充実	ア 高齢者顕彰の実施……………P.33 イ 百歳慶賀の実施
		(2) 社会参加への支援	ア 介護支援ボランティアポイント制度事 業の実施……………P.33 イ 老人クラブの育成 ウ 自主的グループサークル活動の支援 エ 老人大運動会の実施 オ ひとり暮らし会食交流会の実施 カ 交通手段の確保 キ 活動施設の活用 ク 活動機会の創出 ケ 高齢者大学・大学院の実施 コ 高齢者学級の実施 サ 高齢者スポーツ学級の実施 シ 世代間交流事業の実施 ス 高齢者就労センターの充実
		(3) 健康づくりの支援	ア 広報・啓発活動の充実……………P.34 イ 健康機器の貸出し ウ 健康診査の実施 エ 各種がん検診の実施 オ 脳ドックの実施 カ 人間ドックの実施 キ 骨粗しょう症検診の実施 ク 学習機会の充実 ケ 特定保健指導の実施 コ 健康相談・栄養相談の実施 サ 歯周病検診の実施

第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

課 題	基本方針	施策の方向	具体的な施策
			シ 保健師による家庭訪問の実施 ス 栄養士による家庭訪問の実施 セ 成人インフルエンザ予防接種の実施 ソ 高齢者肺炎球菌予防接種の実施 タ ヘルスケアポイント事業の実施
【課題2】 介護予防の 重点的な展 開		(4)介護予防の充実	ア 介護予防知識の普及と啓発……P.35 イ ふまねっと事業の実施 ウ コミュニティ施設などの活用 エ スポーツ施設の利用 オ スポーツ活動機会の確保 カ 生活支援体制整備事業の実施 キ 介護予防・日常生活支援総合事業の実施 ク 介護予防ケアマネジメントの実施 ケ 通所型介護予防事業『すまいる』の実施 コ 一般介護予防事業『あすなるクラブ』の実施 サ 口腔機能向上・栄養改善事業の実施 シ 一般介護予防評価事業 ス 介護予防運動教室『地域まるごと元気アッププログラム』の実施 セ 体力・認知力測定会の実施
		(5)介護予防給付サービスの充実	ア 介護予防認知症対応型通所介護…P.36 イ 介護予防小規模多機能型居宅介護 ウ 介護予防通所リハビリテーション エ 介護予防短期入所生活介護 オ 介護予防短期入所療養介護 カ 介護予防訪問看護 キ 介護予防訪問リハビリテーション ク 介護予防居宅療養管理指導 ケ 介護予防福祉用具貸与 コ 介護予防特定福祉用具販売 サ 介護予防住宅改修費の支給
【課題3】 医療と介護 の連携	【方針2】 在宅医療と介護が連携し暮らしを支えるしくみの実現  ～医療と介護を必要としても安心して生活できるように～	(1)相談体制の充実	ア 総合相談・支援の実施……P.37 イ サービスの利用手続の支援 ウ 保健福祉ガイドの配布 エ 事業所一覧の配布 オ パンフレット・町広報紙などの活用 カ 地域包括支援センターの活用 キ 居宅介護（予防）支援事業者との連携 ク 住民組織・福祉団体などの協力促進 ケ 体験利用の促進 コ 高齢者実態調査の実施
		(2)地域包括支援センターの機能の充実	ア きめ細かな地域包括支援センターの運営……P.37

第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

課 題	基本方針	施策の方向	具体的な施策
			イ ワンストップサービスによる利便性の向上 ウ 包括的・継続的マネジメントの支援 エ ケアマネジャー連絡会の実施 オ 権利擁護業務の実施 カ サービス未利用者に対するアプローチの充実
		(3)保健・医療・福祉・介護の連携体制の充実	ア 福祉団体・民間法人などとの連携……………P.38 イ 地域ケア会議などを通じた連携体制の充実 ウ 在宅医療・介護連携の推進
		(4)医療・介護人材の確保	ア 看護師養成機関への支援……………P.39 イ 夜間休日医療体制の確保 ウ 介護人材の育成・確保の支援策の検討 エ ふるさと介護福祉士育成支援事業 オ 介護アシスタントの推進 カ 介護支援ボランティアポイント制度事業の推進【再掲】
【課題4】 介護サービスの適切な提供構築	【方針3】 利用者の視点に立ったサービス提供の実現 ～必要なときに安心して質の高いサービスが受けられるように～	(1)介護保険以外の在宅福祉サービスの充実	ア 福祉用具貸与……………P.40 イ 家族介護用品支給事業 ウ 寝具洗濯乾燥サービス エ 出張理髪サービス オ 配食サービス カ 除雪サービス キ ごみサポート収集事業 ク 独居老人等友愛訪問 ケ あんしんお預かり事業
		(2)介護保険による在宅サービスの充実	ア 認知症対応型通所介護……………P.40 イ 小規模多機能型居宅介護 ウ 通所介護 エ 地域密着型通所介護 オ 通所リハビリテーション カ 短期入所生活介護 キ 短期入所療養介護 ク 訪問介護 ケ 訪問入浴介護 コ 訪問看護 サ 訪問リハビリテーション シ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ス 看護小規模多機能型居宅介護 セ 居宅療養管理指導 ソ 福祉用具貸与 タ 特定福祉用具販売 チ 住宅改修費の支給 ツ 共生型サービス

第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

課 題	基本方針	施策の方向	具体的な施策
		(3)施設入所・入居型サービスの充実	ア 介護老人福祉施設……………P.42 イ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 ウ 介護老人保健施設 エ 介護療養型医療施設 オ 養護老人ホーム カ ケアハウス キ 認知症対応型共同生活介護 ク 特定施設入居者生活介護
		(4)介護保険事業の適切な実施と運営	ア 介護保険・地域包括ケア協議会の運営……………P.42 イ 条例や規則、要綱などの整備 ウ 介護保険出前講座の実施 エ 利用者負担の軽減措置 オ 介護給付費適正化事業の推進 カ 介護相談員派遣事業の実施 キ 適正な事業者の指定 ク 事業者への指導・監査 ケ 介護認定の公平性・公正性の確保 コ 苦情対応窓口の充実 サ 事務作業の効率化 シ 災害や感染症などに備えたサービス提供体制の構築
【課題5】 支え合う互助のしくみづくり	【方針4】 住み慣れた暮らしを支えるしくみの実現 ～住み慣れた暮らしを地域で支えるために～	(1)互助のしくみづくり	ア 福祉学習の促進……………P.44 イ 福祉実践校の育成 ウ 福祉まつりの実施 エ ボランティア団体の育成 オ NPO法人などの福祉活動の参加促進 カ 地域共生社会の実現に向けた環境の構築
		(2)地域の多様な活動団体との連携	ア 社会福祉協議会との連携……………P.44 イ 地域住民との連携 ウ 地域交流サロン事業 エ 施設の地域交流事業
		(3)家族介護者への支援	ア 家族介護者支援事業……………P.45 イ 介護マークの普及
		(4)あんしんネットワーク	ア あんしん（地域見守り）ネットワーク……………P.45 イ 電話サービス（お元気コール）
【課題6】 認知症高齢者の総合的支援体制		(5)認知症の人を支えるしくみの充実	ア 認知症サポーターの養成と活動支援……………P.45 イ 認知症地域支援推進員の配置と体制整備 ウ 認知症初期集中支援推進事業 エ 認知症ケアパスの普及 オ 認知症家族介護交流会

第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

課 題	基本方針	施策の方向	具体的な施策
			カ 未帰宅高齢者の家族支援 キ 認知症カフェの普及 ク あんしん（未帰宅高齢者等SOS）ネットワーク ケ 軽度認知障害スクリーニングテスト コ 見守り訪問事業
		(6)権利擁護の推進	ア 日常生活自立支援事業……………P.46 イ 成年後見制度の利用促進支援 ウ 成年後見サポートセンターの運営 エ あんしん（高齢者虐待防止）ネットワーク
【課題7】  高齢者が安心できる生活環境の実現	【方針5】  安心して暮らせる住まいとまちの実現  ～安心して快適に生活できるように～	(1)いざというときに助け合えるまちの実現	ア 福祉電話の貸与……………P.47 イ 緊急通報システムの普及 ウ あんしん（孤立死防止見守り）ネットワーク エ 避難行動要支援者の把握及び支援 オ 救急医療情報キットの配布 カ 生活福祉資金貸付事業 キ 歳末法外援護活動 ク 緊急時安否確認（鍵預かり）モデル事業
		(2)居住環境の整備	ア 技術的指導体制の確立……………P.47 イ やさしい住宅改修費補助 ウ ユニバーサルデザインを取り入れた公営住宅の整備 エ 高齢者住み替え支援事業の実施 オ 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅 カ 介護老人福祉施設【再掲】 キ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護【再掲】 ク 養護老人ホーム【再掲】 ケ ケアハウス【再掲】 コ 認知症対応型共同生活介護【再掲】 サ 特定施設入居者生活介護【再掲】
		(3)生活環境の整備	ア 道路・歩道の整備……………P.48 イ 公園・緑地などの整備 ウ 公共建築物の整備 エ 交通安全施設などの整備 オ 公共的建築物の整備促進

# 1 生きがい・健康づくりと介護予防事業の展開

～いつまでも健康でいられるように～

## (1) 敬老事業の充実

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 高齢者顕彰の実施	80歳及び88歳に到達した町民を対象に、高齢者顕彰を実施します。	継続実施	・音更町
イ 百歳慶賀の実施	100歳の長寿を祝い、記念品、祝金などを贈呈します。	継続実施	・音更町

## (2) 社会参加への支援

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 介護支援ボランティアポイント制度事業の実施	高齢者の社会参加を促進し、介護予防にも役立ててもらうために、高齢者がボランティア活動を行った際にポイントを付与し、実績に応じてポイントを現金などに換金できる制度を実施します。	継続実施	・音更町 ・社会福祉協議会
イ 老人クラブの育成	スポーツ、レクリエーション活動のほか、福祉・文化活動など、高齢者の社会参加を促進する老人クラブを育成し、自主的な組織体制の確立に努めます。	継続実施	・音更町 ・社会福祉協議会
ウ 自主的グループサークル活動の支援	高齢者の文化・スポーツなどを通じた社会参加を推進するため、グループサークルの活動を支援します。	継続実施	・音更町
エ 老人大運動会の実施	高齢者がスポーツ・レクリエーションを通して健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、老人大運動会を開催し、高齢者の健康増進を図ります。	継続実施	・音更町
オ ひとり暮らし会食交流会の実施	70歳以上の単身高齢者を対象として、会食交流会を実施します。	継続実施	・社会福祉協議会
カ 交通手段の確保	高齢者などの交通手段を確保するため、生活交通路線を運行する乗合バス事業者への補助を行うほか、市街地においてはコミュニティバス（ユニバーサルデザインを取り入れた専用車両の導入）運行事業に助成し、農村地域においては予約制乗合タクシー運行事業に助成するなど、交通手段を確保するとともに利便性を高めます。	継続実施	・音更町
キ 活動施設の活用	地域のコミュニティを形成する核として、コミュニティセンターや地域会館などの有効的な活用を促進します。	継続実施	・音更町
ク 活動機会の創出	地域コミュニティ活動を推進するため、「潤いと思いやりの地域づくり事業（地域が自ら取り組む地域づくり事業に対する一部補助）」を実施します。	継続実施	・音更町
ケ 高齢者大学・大学院の実施	高齢者の社会参加を促進するため、生涯学習の観点に立った継続的な学習を推進します。	継続実施	・音更町
コ 高齢者学級の実施	高齢者が生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、人生の成熟期にふさわしい学級の開催に努めます。	継続実施	・音更町

第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
サ 高齢者スポーツ学級の実施	高齢者がスポーツ・レクリエーションを通して健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、高齢者スポーツ学級の充実に努めます。	継続実施	・音更町
シ 世代間交流事業の実施	体験的学習やふれあい住宅での生活など、地域の高齢者が他の世代と共に価値観を共有できる機会の充実に努めます。	継続実施	・音更町
ス 高齢者就労センターの充実	高齢者の豊かな知識、経験及び能力を生かせる職種の拡大を図るとともに、楽しみながら気軽に就労できる環境づくりに努めます。	継続実施	・社会福祉協議会

(3) 健康づくりの支援

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 広報・啓発活動の充実	広報紙やホームページ、ソーシャルメディアを活用した動画配信などを通じて、健康に関する情報を提供し、町民一人ひとりの主体的・効果的な健康づくりを推進します。	継続実施	・音更町
イ 健康機器の貸出し	健康機器の貸出しを行い、健康づくりの向上に努めます。	継続実施	・音更町
ウ 健康診査の実施	特定健診、一般基本健診及び後期高齢者健診を実施し、生活習慣病の予防を図ります。	継続実施	・音更町
エ 各種がん検診の実施	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、子宮頸がん検診及びび乳がん検診の集団・個別検診を実施し、がんの早期発見に努めます。	継続実施	・音更町
オ 脳ドックの実施	脳ドックを実施し、脳血管疾患の早期発見に努めます。	継続実施	・音更町
カ 人間ドックの実施	受診機会の拡充のため、人間ドック費用の助成を行います。	継続実施	・音更町
キ 骨粗しょう症検診の実施	転倒骨折を予防するため、骨粗しょう症検診を実施し、骨粗しょう症の早期発見に努めます。	継続実施	・音更町
ク 学習機会の充実	健康づくり講座や健康教育などの健康に関する学習機会を拡充し、自らの健康づくりを支援します。	継続実施	・音更町
ケ 特定保健指導の実施	特定健診経過観察者（高血圧、脂質異常症、高血糖）に対する生活習慣の改善を継続的に支援します。	継続実施	・音更町
コ 健康相談・栄養相談の実施	健康相談などを通じて、健康の増進に関する正しい知識を普及します。 また、必要に応じて栄養相談が受けられるよう、病態別栄養相談を実施します。	継続実施	・音更町
サ 歯周病検診の実施	う歯や歯周病を早期に発見するため、歯周病検診を実施します。	継続実施	・音更町
シ 保健師による家庭訪問の実施	生活習慣病の予防や介護予防を推進するため、保健師による家庭訪問を実施します。	継続実施	・音更町
ス 栄養士による家庭訪問の実施	生活習慣病や高齢者の食生活を改善するため、栄養士による家庭訪問を実施します。	継続実施	・音更町

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
セ 成人インフルエンザ予防接種の実施	インフルエンザの発病や重症化を予防するため、予防接種を実施します。	継続実施	・音更町
ソ 高齢者肺炎球菌予防接種の実施	肺炎球菌による肺炎の発病や重症化を予防するため、予防接種を実施します。	継続実施	・音更町
タ ヘルスケアポイント事業の実施	健康づくりに関する事業をポイント化し、健康づくりへの関心を高め、各種健診（検診）受診や健康的な生活習慣を身につけるきっかけづくりを行います。	継続実施	・音更町

#### （４）介護予防の充実

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 介護予防知識の普及と啓発	健康教育、健康相談などを通じて、介護予防に関する知識の普及と啓発を図ります。	継続実施	・音更町
イ ふまねっと事業の実施	高齢者の歩行機能の改善及び認知症の予防などを図るため、「ふまねっと」を活用した運動を推進し、高齢者の介護予防と健康増進に努めます。	継続実施	・社会福祉協議会
ウ コミュニティ施設などの活用	利便性を考慮した保健活動を推進するため、地域のコミュニティ施設などを活用し、健康の保持・増進のために保健事業を実施します。	継続実施	・音更町
エ スポーツ施設の利用	各種スポーツ施設を活用し、生涯にわたる積極的な健康づくりを推進します。	継続実施	・音更町
オ スポーツ活動機会の確保	若い世代からの積極的な健康づくりを推進するため、町民各層に応じたスポーツの振興に努めます。	継続実施	・音更町
カ 生活支援体制整備事業の実施	高齢者の在宅生活を支えるため、関係機関・団体などで構成する協議体を設置するとともに、地域資源の開発とネットワーク化、ニーズと地域資源のマッチングを行う生活支援コーディネーターを配置し、地域住民による支え合いのしくみづくりを進めます。	継続実施	・音更町 ・社会福祉協議会
キ 介護予防・日常生活支援総合事業の実施	要支援者などに提供している訪問型サービス、通所型サービスの円滑な実施に努めるとともに、多様なサービスの提供について検討します。	継続実施	・音更町
ク 介護予防ケアマネジメントの実施	事業対象者（チェックリスト該当者）並びに要支援1及び要支援2の高齢者に対し、個々の状態に応じた自己実現を目指す具体的目標を設定し、定期的評価を用いて、生活機能の維持・向上を目指します。	継続実施	・音更町
ケ 通所型介護予防事業『すまいる』の実施	事業対象者（チェックリスト該当者）並びに要支援1及び要支援2の高齢者に対し、介護予防プログラム（口腔機能向上・筋力アップ・閉じこもりや認知症予防など）を実施し、生活機能の維持・向上を図り、要介護状態への進行を予防します。	継続実施	・音更町
コ 一般介護予防事業『あすなるクラブ』の実施	地域会館などの身近な場所で、高齢者個々の状態に合わせた運動機能訓練を実施し、運動機能の維持・向上を図るとともに、介護予防の知識の普及と精神面の活発化を図ります。	継続実施	・音更町



第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
サ 口腔機能向上・栄養改善事業の実施	歯科衛生士・栄養士により、高齢者のフレイル予防の普及啓発を図ります。	継続実施	・音更町
シ 一般介護予防評価事業	介護保険事業計画の目標値の達成状況などの検証を通じ、一般介護予防事業の事業評価を行い、事業の実施方法の改善を図ります。	継続実施	・音更町
ス 介護予防運動教室『地域まるごと元気アッププログラム』の実施	楽しく運動を続け、体力を向上させたい高齢者に対し、健康運動指導士の資格を持った専門家が、頭と体を運動させる手指の体操や足腰の筋力トレーニング、参加者同士の交流を深めるレクリエーション運動を実施し、生活機能の維持・向上を図ります。	継続実施	・音更町
セ 体力・認知力測定会の実施	運動機能、認知機能を測定し、高齢者が自身の体の状態を把握するとともに、機能低下のある人は、早期に介護予防に取り組むことができるよう支援します。	継続実施	・音更町

(5) 介護予防給付サービスの充実

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア 介護予防認知症対応型通所介護	認知症高齢者の日常生活上の世話、訓練などを行い、利用者の社会的孤立感の解消、介護者の負担軽減を図ります。	継続実施	・社会福祉法人等
イ 介護予防小規模多機能型居宅介護	「通い」を中心に、要介護者の状態や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせてサービスを提供することで、在宅生活の継続を支援します。	継続実施	・社会福祉法人等
ウ 介護予防通所リハビリテーション	医学的管理のもと、心身機能の維持・向上を目指します。	継続実施	・医療法人等
エ 介護予防短期入所生活介護	一時的に介護老人福祉施設で介護し、介護者の負担軽減などを図ります。	継続実施	・社会福祉法人等
オ 介護予防短期入所療養介護	一時的に介護老人保健施設で介護し、介護者の負担軽減などを図ります。	継続実施	・医療法人等
カ 介護予防訪問看護	看護師などが自宅を訪問し、療養上の世話や必要な診療の補助を行います。	継続実施	・医療法人等
キ 介護予防訪問リハビリテーション	理学療法士などが自宅を訪問し、必要なリハビリテーションを行います。	継続実施	・医療法人等
ク 介護予防居宅療養管理指導	医師・歯科医師・薬剤師などが自宅を訪問し、必要な療養上の管理や指導を行います。	継続実施	・医療法人等
ケ 介護予防福祉用具貸与	特殊寝台や車椅子などを貸与します。	継続実施	・民間事業者等
コ 介護予防特定福祉用具販売	入浴や排せつに使用する福祉用具を販売します。	継続実施	・民間事業者等
サ 介護予防住宅改修費の支給	自宅の段差解消、手すりの取付けなどの住宅改修費用を支給します。	継続実施	・民間事業者等

## 2 在宅医療と介護が連携し暮らしを支えるしくみの実現

～医療と介護を必要としても安心して生活できるように～

### (1) 相談体制の充実

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 総合相談・支援の実施	さまざまな高齢者や家族の相談に対し、制度や職域などにとられない総合的な支援を行うとともに、地域関係者のネットワークの構築、地域の高齢者の実態把握を行います。	継続実施	・音更町
イ サービスの利用手続の支援	外出困難な高齢者などの利便を図るため、家庭訪問による各種サービスの利用手続きを支援します。	継続実施	・音更町
ウ 保健福祉ガイドの配布	保健・福祉・介護に関するサービス内容や高齢者個々の状態に応じて利用できるサービスメニューなどを掲載したガイドブックを作成・配布し、制度の周知を図ります。	継続実施	・音更町
エ 事業所一覧の配布	介護（予防）サービス事業所・ケアマネジャー事業所の一覧を作成・配布し、利用者や家族が自らの意志で事業所を選択できるよう、積極的な情報提供を行います。	継続実施	・音更町
オ パンフレット・町広報紙などの活用	広報紙やホームページ、ソーシャルメディアなどを活用して、保健・福祉・介護に関する制度の周知を図ります。	継続実施	・音更町
カ 地域包括支援センターの活用	地域包括支援センターが把握した高齢者の情報を町に集積し、連携を図るとともに、的確なサービス利用へつなげていくため、これらの窓口を通じて各種制度の周知を図ります。	継続実施	・音更町 ・社会福祉法人等
キ 居宅介護（予防）支援事業者との連携	必要なサービスの検討を行うため、居宅介護（予防）支援事業者が日常業務を通して把握している情報を、必要に応じて町と地域包括支援センターへ集積します。	継続実施	・音更町 ・民間事業者等
ク 住民組織・福祉団体などの協力促進	民生委員、老人クラブ、ボランティア、社会福祉協議会などの協力のもと、各種サービスの啓発やニーズの早期把握に努めます。	継続実施	・音更町 ・社会福祉協議会
ケ 体験利用の促進	デイサービスなどの体験利用を促進し、気軽にサービスが利用できる環境づくりを進めます。	継続実施	・音更町 ・社会福祉法人等
コ 高齢者実態調査の実施	計画策定や施策の点検・見直しなど、高齢者の生活実態や介護ニーズの把握が必要な際には、適正な規模で実態調査を実施します。	継続実施	・音更町

### (2) 地域包括支援センターの機能の充実

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア きめ細かな地域包括支援センターの運営	これまで1箇所運営してきた地域包括支援センターを町内3箇所に配置し、相談窓口を充実するとともに、各地域の実情に応じた、よりきめ細かなサービスの提供を行います。 また、在宅介護の相談や各種保健・福祉・介護サービスの利用などに関する地域の身近な対応窓口として地域包括支援センターの周知を図り、活用を促進していきます。	継続実施	・音更町 ・社会福祉法人等

## 第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
イ ワンストップサービスによる利便性の向上	要介護（支援）認定申請から調査、予防ケアマネジメントまでの流れを一つの窓口で担うワンストップサービスを行い、利便性を向上させるとともに、安心してサービスの提供を受けることができる環境を築きます。	継続実施	・音更町 ・社会福祉法人等
ウ 包括的・継続的マネジメントの支援	ケアマネジャーに対する日常的・継続的指導と支援困難事例などへの指導・助言を行うとともに、ICTの活用やケア会議などを通じて、ケアマネジャーと関係機関との連携・協力体制を支援します。	継続実施	・音更町 ・社会福祉法人等
エ ケアマネジャー連絡会の実施	ケアマネジャーの資質向上を目的とした事例検討会や研修を定期的開催するとともに、情報交換を通じてケアマネジャーのネットワークづくりを支援します。	継続実施	・音更町 ・社会福祉法人等
オ 権利擁護業務の実施	虐待案件や困難事例などについて、問題解決に向け、関係機関との連携を図りながら、迅速かつ継続的な支援を行います。	継続実施	・音更町 ・社会福祉法人等
カ サービス未利用者に対するアプローチの充実	サービスを利用していない要介護（支援）認定者に対して定期的なアプローチを行い、状況を把握するとともに、未利用の要因が制度に関する理解不足などの場合には、説明を行い理解を促した上で、適切なサービス利用へつなげていきます。	継続実施	・音更町 ・社会福祉法人等

### （3）保健・医療・福祉・介護の連携体制の充実

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア 福祉団体・民間法人などとの連携	福祉関係団体や企業、NPO法人などの自主的な福祉活動を支援するとともに、ボランティア組織活動の中心的役割を担う社会福祉協議会と連携し、人材の育成や掘り起こしなど、地域福祉基盤の強化と組織のネットワーク化を促進します。	継続実施	・音更町
イ 地域ケア会議などを通じた連携体制の充実	ケアマネジャーが抱える処遇困難なケースや地域包括支援センターが把握している介護予防必要者への対応について、保健・医療・福祉・介護・地域などの関係者が一堂に会して多角的な視点で検討し、効果的なサービスを提供するためのプランニングを行います。 また、これらの関係者で構成する町レベルの地域ケア会議を設置し、保健・医療・福祉・介護サービスの総合的な調整を図るとともに、効果的なサービスの利用を促進します。 ・介護保険・地域包括ケア協議会 ・個別ケース会議 ・民生委員意見交換会 ・医療介護連携推進会議 ・地域包括支援センター連絡会議	継続実施	・音更町
ウ 在宅医療・介護連携の推進	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に在宅医療と介護サービスを一体的に提供できるよう、医療介護連携推進会議などを通じて関係者間の連携を図ります。 また、ICTの活用などにより、ケース個々の詳細な情報を共有し、その内容を踏まえた適切なサービスを円滑に提供していきます。	継続実施	・音更町 ・医療法人等

## (4) 医療・介護人材の確保

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア 看護師養成機関への支援	看護師養成機関である帯広高等看護学院の運営を支援します。	継続実施	・一部 事務組合
イ 夜間休日医療体制の確保	医療機関の協力のもと、夜間・休日などの救急医療体制を確保します。	継続実施	・音更町 ・医療 法人等
ウ 介護人材の育成・確保の支援策の検討	社会福祉法人などと協働して、地域における福祉人材の育成確保を目指します。 また、介護職員に必要な医療知識や制度に対する理解などの研修を実施し、福祉人材の質の向上を図ります。	継続実施	・音更町 ・社会福祉 協議会 ・学校法人
エ ふるさと介護福祉士育成支援事業	介護福祉士を志す学生に対して、学費や研修などに要する費用を助成し、将来を担う人材の育成を支援していきます。	継続実施	・音更町 ・学校法人
オ 介護アシスタントの推進	就労意欲のある高齢者が介護施設内での補助的周辺業務を行う「介護アシスタント制度」を推進し、高齢者の介護予防や社会参加を促すとともに、介護専門職の負担軽減を図ります。	継続実施	・社会福祉 法人等
カ 介護支援ボランティアポイント制度事業の推進【再掲】	介護サービス事業所が対象施設に含まれている「生きいきポイント事業（換金可能なボランティアポイント付与事業）」を推進し、高齢者の介護予防・社会参加を促すとともに、介護専門職の負担軽減を図ります。	継続実施	・音更町 ・社会福祉 協議会

### 3 利用者の視点に立ったサービス提供の実現

～必要なときに安心して質の高いサービスが受けられるように～

#### (1) 介護保険以外の在宅福祉サービスの充実

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 福祉用具貸与	要介護認定非該当者や介護保険施設からの一時帰宅者に対して、特殊寝台や車椅子などを短期間貸与します。	継続実施	・社会福祉協議会
イ 家族介護用品支給事業	在宅の寝たきり高齢者を介護している人に対して、おむつなどの介護用品を購入できる利用券を交付します。	継続実施	・音更町
ウ 寝具洗濯乾燥サービス	寝たきり高齢者の保健衛生に配慮した生活を支援するため、寝具洗濯乾燥サービスを提供します。	継続実施	・音更町
エ 出張理髪サービス	寝たきり高齢者が少しでも快適な生活が送れるよう、理容室などの協力により、出張理髪サービスを提供します。	継続実施	・音更町
オ 配食サービス	食事をつくるのが困難な高齢者世帯などに対し、個々の病態に合わせた食事を配達するとともに、栄養状態の維持や安否確認を行います。	継続実施	・音更町
カ 除雪サービス	除雪が困難な高齢者世帯などに対し、除雪サービスを提供します。	継続実施	・音更町
キ ごみサポート収集事業	自ら家庭ごみを収集場所まで運ぶことが困難で、親族や近隣住民などの協力を得ることが困難な場合に、直接自宅を訪問し、玄関先などからごみを収集します。	継続実施	・音更町
ク 独居老人等友愛訪問	単身高齢者の孤独感、疎外感などを緩和するため、老人クラブの友愛訪問を実施します。	継続実施	・老人クラブ
ケ あんしんお預かり事業	何らかの理由により、一時的に生活を維持するための払戻しや支払いができない状態となり、他に適切な支援者がいない場合、契約により通帳の預かりや入出金の代行をします。	新規実施	・社会福祉協議会

#### (2) 介護保険による在宅サービスの充実

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 認知症対応型通所介護	認知症高齢者の日常生活上の世話、訓練などを行い、利用者の社会的孤立感の解消、介護者の負担軽減を図ります。	継続実施	・社会福祉法人等
イ 小規模多機能型居宅介護	「通い」を中心に、要介護者の状態や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせてサービスを提供することで在宅生活の継続を支援します。	継続実施	・社会福祉法人等
ウ 通所介護	心身機能の維持・向上と介護者の負担軽減を図ります。	継続実施	・社会福祉法人等
エ 地域密着型通所介護	心身機能の維持・向上と介護者の負担軽減を図ります。 (利用定員18人以下の小規模な通所介護事業所)	継続実施	・民間事業者等

第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
オ 通所リハビリテーション	医学的管理のもと、心身機能の維持・向上を目指します。	継続実施	・医療法人等
カ 短期入所生活介護	一時的に介護老人福祉施設で介護し、介護者の負担軽減などを図ります。	継続実施	・社会福祉法人等
キ 短期入所療養介護	一時的に介護老人保健施設で介護し、介護者の負担軽減などを図ります。	継続実施	・医療法人等
ク 訪問介護	介護福祉士などが自宅を訪問し、身体介護や生活援助を行い、日常生活を支援します。	継続実施	・社会福祉法人等
ケ 訪問入浴介護	自宅に浴槽を搬入し、入浴の介護を行い、清潔保持や心身機能の維持などを図ります。	継続実施	・社会福祉法人等
コ 訪問看護	看護師などが自宅を訪問し、療養上の世話や必要な診療の補助を行います。	継続実施	・医療法人等
サ 訪問リハビリテーション	理学療法士などが自宅を訪問し、必要なりハビリテーションを行います。	継続実施	・医療法人等
シ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1日複数回の定期的な訪問と要請に応じて24時間対応での随時訪問がセットになっています。 介護が必要になっても、住み慣れた家庭でできる限り生活ができるようサービスの導入を検討します。	検討	・医療法人等
ス 看護小規模多機能型居宅介護	「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」の組み合わせで提供されるサービスです。 介護が必要になっても、住み慣れた家庭でできる限り生活ができるようサービスの導入を検討します。	検討	・医療法人等
セ 居宅療養管理指導	医師・歯科医師・薬剤師などが自宅を訪問し、必要な療養上の管理や指導を行います。	継続実施	・医療法人等
ソ 福祉用具貸与	特殊寝台や車椅子などを貸与します。	継続実施	・民間事業者等
タ 特定福祉用具販売（福祉用具購入費の支給）	入浴や排せつに使用する福祉用具を販売します。	継続実施	・民間事業者等
チ 住宅改修費の支給	自宅の段差解消、手すりの取付けなどの住宅改修費用を支給します。	継続実施	・民間事業者等
ツ 共生型サービス	介護保険サービス事業所で障がい福祉サービスの利用が可能となることから、介護保険と障がい福祉の両制度の基準や高齢者と障がいのある人への支援内容などを踏まえ、サービスの質の確保に留意し、現在サービスを利用している人が不利益になることがないように、円滑に進められるよう努めます。	継続実施	・社会福祉法人等

## (3) 施設入所・入居型サービスの充実

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	要介護認定者が入所し、日常生活の支援や機能訓練などを受けます。	継続実施	・社会福祉 法人等
イ 地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介 護(定員29人以下の 特別養護老人ホーム)	要介護認定者が入所し、日常生活の支援や機能訓練などを受けます。	継続実施	・社会福祉 法人等
ウ 介護老人保健施設 (老人保健施設)	要介護認定者が入所し、医学的管理下における介護、機能訓練、日常生活の支援などを受けます。	継続実施	・医療 法人等
エ 介護療養型医療施設	要介護認定者が入院し、療養上の管理、看護や医学的管理下における介護、機能訓練などの医療サービスを受けます。	継続実施	・医療 法人等
オ 養護老人ホーム	65歳以上の高齢者が社会的、経済的理由から自宅での生活が困難になった場合に入所し、日常生活上の支援を受けます。	継続実施	・社会福祉 法人等
カ ケアハウス	60歳以上の方が家庭環境や住宅事情などにより、自宅での生活が困難になった場合に入所し、日常生活上の支援を受けます。	継続実施	・社会福祉 法人等
キ 認知症対応型共同生 活介護(認知症グルー プホーム)	認知症高齢者を定員5～9人の共同生活住居で、家庭的な雰囲気の中で介護を行い、認知症の進行を緩和します。	継続実施	・社会福祉 法人等
ク 特定施設入居者生活 介護	有料老人ホームなどの特定施設へ入居している人に、日常生活上の支援や介護サービスを提供します。	継続実施	・社会福祉 法人等

## (4) 介護保険事業の適切な実施と運営

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア 介護保険・地域包括 ケア協議会の運営	音更町の附属機関である「介護保険・地域包括ケア協議会」に施策などを諮り、介護保険事業と地域包括ケアシステムを一体的に推進していきます。 また、事業の進捗状況を把握し、見直しを行うとともに、新たな施策の展開を検討するため、PDCA(Plan→Do→Check→Action)サイクルを確立し、総合的な推進体制を構築します。	継続実施	・音更町
イ 条例や規則、要綱な どの整備	介護保険の基本理念や町、事業者及び町民の責務・施策を明らかにした介護保険等の実施に関する条例をはじめ、規則や要綱などの関係規定を整備するほか、法改正に対応した見直しを必要に応じて進めます。	継続実施	・音更町
ウ 介護保険出前講座の 実施	介護保険制度に対する町民の理解を深めるため、必要に応じて出前講座を実施します。	継続実施	・音更町

第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
エ 利用者負担の軽減措置	低所得者の利用者負担額を軽減し、サービスの利用の促進を図ります。	継続実施	・音更町
オ 介護給付費適正化事業の推進	国民健康保険団体連合会の介護給付費適正化システムを活用し、介護給付の適正化を推進するとともに、ケアプランの点検を行い、不適正な計画を改善することで、介護支援専門員の質の向上に努めます。	継続実施	・音更町
カ 介護相談員派遣事業の実施	介護相談員を介護サービス事業所に派遣し、サービス利用者などとサービス提供事業者や関係機関への橋渡しを行い、苦情申立に至る前に問題を解決できるよう支援します。	継続実施	・音更町
キ 適正な事業者の指定	介護サービス事業者の指定にあたっては、適正な事業者の参入が円滑に行われるよう公平な指定を行います。	継続実施	・音更町
ク 事業者への指導・監査	介護サービス事業者のサービスの質の確保と向上を図るため、事業者への指導を実施するほか、事業者の法令遵守の徹底などを図り、介護保険事業の適性な運営に努めます。	継続実施	・音更町
ケ 介護認定の公平性・公正性の確保	介護認定に係る訪問調査の公平性・公正性の確保と調査員の質的向上を図るため、継続的な研修・指導などに努めるとともに、介護の必要度（要介護状態等区分）の判定を行う介護認定審査会において、公平で統一性が保たれた判定を行うため、審査会委員の知識の向上に努めます。	継続実施	・音更町
コ 苦情対応窓口の充実	介護サービスの内容や介護認定などに関する苦情に対応するため、町及び地域包括支援センターに設置している相談窓口の周知を図り、住民の不安や不満の解消に努め、サービスの質的向上を支援します。	継続実施	・音更町 ・社会福祉法人等
サ 事務作業の効率化	介護職員などが事務作業に時間をとられ、サービス利用者に対する時間が削られてしまうことを避けるため、現況報告のデータベース化など、各種事務作業の効率化を図ります。	継続実施	・音更町 ・民間事業者等
シ 災害や感染症などに備えたサービス提供体制の構築	音更町地域防災計画や新型インフルエンザ等対策行動計画などに基づき、災害や感染症などに備えたサービス提供体制を構築します。 また、災害や感染症などが発生した場合には、安全を第一に考え、関係機関と連携の上、事態の収束に努めます。	継続実施	・音更町 ・民間事業者等



## 4 住み慣れた暮らしを支えるしくみの実現

～住み慣れた暮らしを地域で支えるために～

### (1) 互助のしくみづくり

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 福祉学習の促進	生涯学習やボランティアスクールなど、福祉学習機会の拡充を図るとともに、将来を担う青少年の福祉意識の醸成に努めます。	継続実施	・音更町 ・社会福祉協議会
イ 福祉実践校の育成	青少年の福祉に関する理解と関心を高めるため、福祉実践校の育成を図り、学校教育を通じて福祉の実践、体験学習を促進します。	継続実施	・音更町 ・社会福祉協議会
ウ 福祉まつりの実施	ノーマライゼーションの理念を普及するため、町民や福祉関係者が一堂に会し、福祉に関する研修・交流などを深める機会として、福祉まつりを実施します。	継続実施	・社会福祉協議会
エ ボランティア団体の育成	地域福祉の推進を図るため、地域に根ざしたボランティア団体の育成を促進します。	継続実施	・社会福祉協議会
オ NPO法人などの福祉活動の参加促進	NPO法人などが福祉活動に参入しやすい環境の醸成に努めます。	継続実施	・音更町 ・民間事業者等
カ 地域共生社会の実現に向けた環境の構築	地域福祉計画に基づき、高齢者、障がい者、子どもなど、広い世代が分け隔てなく集い、交流することができるよう、地域における「支え合い」の環境構築を進めます。	継続実施	・音更町 ・民間事業者等

### (2) 地域の多様な活動団体との連携

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 社会福祉協議会との連携	地域福祉活動の中心的役割を担う社会福祉協議会が自主的な活動を積極的に展開できるよう、財政的な支援と連携の強化を図ります。	継続実施	・音更町 ・社会福祉協議会
イ 地域住民との連携	福祉活動に取り組む地区や地域組織を支援し、日常的なふれあいを通じたきめ細かな地域福祉の実現に努めます。	継続実施	・音更町 ・社会福祉協議会
ウ 地域交流サロン事業	広報活動や相談支援、講座の開催などを通して、地域の高齢者の「生きがいづくり」や「健康づくり」を目的に開催されている地域交流サロンの普及・推進に努めます。	継続実施	・社会福祉協議会
エ 施設の地域交流事業	特別養護老人ホームやデイサービスなどの施設を開放し、地域との交流を深めることにより、施設と地域住民との結びつきを強めます。	継続実施	・社会福祉法人等

## (3) 家族介護者への支援

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア 家族介護者支援事業	重度の要介護認定者を介護している家族の労苦をねぎらい、在宅介護を支援するため、家族介護慰労金や家族介護用品（紙おむつ、尿取りパットなど）の支給を行うほか、家族介護交流会を実施します。	継続実施	・音更町
イ 介護マークの普及	誤解や偏見を受けることが多い認知症を介護する人の精神的負担を軽減するため、要介護者であることが一目でわかるよう、介護マークの普及に努めます。	継続実施	・音更町

## (4) あんしんネットワーク

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア あんしん（地域見守り）ネットワーク	高齢者が安心して暮らせるよう、孤立死や虐待の防止、権利擁護、認知症高齢者の支援などについて、地域住民・関係機関と連携して地域全体で高齢者を支えるネットワークを推進します。	継続実施	・音更町
イ 電話サービス（お元気コール）	単身高齢者の孤独感や疎外感の緩和と安否確認のため、電話サービスを実施します。	継続実施	・音更町 ・学校法人

## (5) 認知症の人を支えるしくみの充実

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア 認知症サポーターの養成と活動支援	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守るサポーターを養成し、認知症に関する正しい理解の普及・啓発を図ります。 また、サポーターが地域の支援者として活動できるよう、ステップアップ講座を開催します。	継続実施	・音更町
イ 認知症地域支援推進員の配置と体制整備	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症地域支援推進員を配置し、認知症に関する相談を受けるとともに、医療機関や事業所、地域の支援機関との間の連携や支援体制の構築を図ります。	継続実施	・音更町
ウ 認知症初期集中支援推進事業	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を推進します。 また、認知症になってもなかなか医療受診や介護サービスに結びつかない高齢者や家族のもとへ、医療・介護の専門職で構成されたチームが訪問し、認知症に関する様々な相談に対応します。	継続実施	・音更町

## 第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

事 業	事 業 内 容	第8期中 実施方針	実施主体等
エ 認知症ケアパスの普及	認知症の人の状態に応じた適切な医療や介護サービスの流れがわかる「認知症ケアパス」の普及を図るため、認知症ガイドブックとして作成・配布します。	継続実施	・音更町
オ 認知症家族介護交流会の実施	認知症の人を介護する家族が認知症を理解し、介護者同士の語り合いや情報交換などにより、孤立感を軽減できることで、認知症の人と介護者が共に安心して生活できるよう支援します。	継続実施	・音更町
カ 未帰宅高齢者の家族支援	携帯用端末機を貸与し、人工衛星と携帯端末の電波により未帰宅高齢者を発見する位置情報提供サービスを提供します。	継続実施	・音更町
キ 認知症カフェの普及	認知症の人を支えるつながりを支援し、家族の介護負担の軽減などを図るため、認知症の人とその家族、地域住民、専門職が集う認知症カフェの開設・運営を支援します。	継続実施	・音更町
ク あんしん（未帰宅高齢者等SOS）ネットワーク	行方不明になる可能性がある認知症高齢者や障がい者の情報を事前に登録し、行方不明者が発生した場合には、捜索に協力していただける人に捜索情報をメールやFAXで配信し、早期発見と保護に努めるためのシステムを推進します。	継続実施	・音更町
ケ 軽度認知障害スクリーニングテスト	認知症の疑いがある高齢者（軽度認知障害「MCI」）を早期に発見し、介護予防事業に繋げるとともに、認知症の正しい知識の普及啓発や早期診断の契機とするスクリーニングテストを実施します。	継続実施	・音更町
コ 見守り訪問事業	在宅で生活している認知症の症状がある方を対象に、コミュニティサポーターが話し相手や介護者不在時の留守番、本人の趣味活動などの見守りを行います。	新規実施	・社会福祉協議会

### （6）権利擁護の推進

事 業	事 業 内 容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア 日常生活自立支援事業	高齢や障がいにより日常生活を営むのに支障がある在宅生活の人に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、書類などの預かりサービスを実施します。	継続実施	・社会福祉協議会
イ 成年後見制度の利用促進支援	認知症高齢者などの判断能力が不十分な人の権利を守るため、成年後見制度の利用を促進し、必要な人に対して町長申立支援や後見人への報酬費用の助成を行います。	継続実施	・音更町
ウ 成年後見サポートセンターの運営	成年後見制度に関する専門的助言や相談・支援、地域連携ネットワークのコーディネートを行う中核機関として、制度についての広報や啓発事業、市民後見人の育成・活動支援、親族後見人への支援などを行います。	継続実施	・音更町 ・社会福祉協議会
エ あんしん（高齢者虐待防止）ネットワーク	高齢者の虐待の防止と早期対応を図るため、普及啓発事業、相談事業などを実施するとともに、高齢者虐待ネットワーク関係機関と連携し、高齢者とその家族が安心して生活できるよう支援します。	継続実施	・音更町

## 5 安心して暮らせる住まいとまちの実現

～安心して快適に生活できるように～

### (1) いざというときに助け合えるまちの実現

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 福祉電話の貸与	電話がない低所得単身高齢者の安否確認と孤独感の解消を図るため、福祉電話を貸与します。	継続実施	・音更町
イ 緊急通報システムの普及	単身高齢者の不安解消と緊急時の早期対応を図るため、緊急通報装置を設置・貸与します。	継続実施	・音更町
ウ あんしん（孤立死防止見守り）ネットワーク	高齢者や障がい者など、全ての住民が地域から孤立することなく、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、異変を早期に把握し、孤立死などを防止するために、地域全体で見守るネットワークを推進します。	継続実施	・音更町
エ 避難行動要支援者の把握及び支援	地域防災計画に基づき、自ら避難することが困難な高齢者、障がい者などの把握に努め、災害時に必要な支援が行えるような環境や体制づくりを進めます。	継続実施	・音更町
オ 救急医療情報キットの配布	高齢者や障がい者に、かかりつけ医療機関や持病などの救急時に必要な情報を保管する救急医療情報キットを配布し、日常生活の安心や安全の確保を図ります。	継続実施	・音更町
カ 生活福祉資金貸付事業	高齢者、障がい者、低所得者に対し、貸付けを実施し、その世帯の自立を支援します。	継続実施	・社会福祉協議会
キ 歳末法外援護活動	生活困窮の状態にある世帯の冬期間に増高する生活費の一部を支援し、福祉の増進を図ります。	継続実施	・音更町
ク 緊急時安否確認（鍵預かり）モデル事業	事業利用希望者（75歳以上の単身高齢者など）の鍵を預かり、緊急時には関係機関との連携により入室し、安否確認を行います。 また、コミュニティサポーターが平常時の見守り活動を行います。	新規実施	・社会福祉協議会

### (2) 居住環境の整備

事業	事業内容	第8期中実施方針	実施主体等
ア 技術的指導体制の確立	保健・福祉・建築の職員がチームを編成し、住宅改善の専門的な指導を実施します。	継続実施	・音更町
イ やさしい住宅改修費補助	超高齢社会において誰もが安全で安心して暮らせる住宅を確保するため、段差解消、手すりの設置など（介護保険法や障害者自立支援法などで支給を受けることができる工事を除きます。）の住宅改修費用の一部を補助します。	継続実施	・音更町
ウ ユニバーサルデザインを取り入れた公営住宅の整備	空き家の活用も視野に入れながら、高齢者や障がい者の生活実態に配慮したユニバーサルデザインを取り入れた公営住宅を整備します。	継続実施	・音更町

## 第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
工 高齢者住み替え支援事業の実施	持ち家に住む高齢者世帯が住み替えを行い、住み替え前の住宅を空き家バンクに登録した場合、補助金を交付します。	継続実施	・音更町
オ 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅	食事などのサービスが付いた賃貸住宅施設です。必要に応じて、外部の事業所から介護保険のサービスを受けることができます。	継続実施	・民間事業者等
カ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【再掲】	要介護認定者が入所し、日常生活の支援や機能訓練などを受けます。	継続実施	・社会福祉法人等
キ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（定員29人以下の特別養護老人ホーム）【再掲】	要介護認定者が入所し、日常生活の支援や機能訓練などを受けます。	継続実施	・社会福祉法人等
ク 養護老人ホーム【再掲】	65歳以上の高齢者が社会的、経済的理由から自宅での生活が困難になった場合に入所し、日常生活上の支援を受けます。	継続実施	・社会福祉法人等
ケ ケアハウス【再掲】	60歳以上の方が家庭環境や住宅事情などにより、自宅での生活が困難になった場合に入所し、日常生活上の支援を受けます。	継続実施	・社会福祉法人等
コ 認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）【再掲】	認知症高齢者を定員5～9人の共同生活住居で、家庭的な雰囲気の中で介護を行い、認知症の進行を緩和します。	継続実施	・社会福祉法人等
サ 特定施設入居者生活介護【再掲】	有料老人ホームなどの特定施設に入居している人に、日常生活上の支援や介護サービスを提供します。	継続実施	・社会福祉法人等

### （3）生活環境の整備

事業	事業内容	第8期中 実施方針	実施主体等
ア 道路・歩道の整備	高齢者や障がい者が安全で快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインを取り入れた道路・歩道の整備を推進します。	継続実施	・音更町
イ 公園・緑地などの整備	高齢者や障がい者が安全で快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインを取り入れた公園・緑地の整備を推進します。	継続実施	・音更町
ウ 公共建築物の整備	公共建築物の建設にあたっては、高齢者や障がい者が安全で快適に利用できる施設づくりを推進するとともに、既存施設の現状把握を行い、構造・設備などの改善に努めます。	継続実施	・音更町
エ 交通安全施設などの整備	高齢者や障がい者を交通事故から守るため、ユニバーサルデザインを取り入れた信号機、標識、防護柵、歩道などの整備を推進します。	継続実施	・音更町
オ 公共的建築物の整備促進	商店や金融機関などの公共的建築物の建設にあたっては、高齢者や障がい者に配慮した整備を推進します。	継続実施	・音更町 ・民間事業者等